

# 1 部

学習サポート

## 各種申込締切について

『試験・スクーリング情報ブック』にてご確認ください。

- ・学年暦→2022年度版・2023年度版 p. 4～5
- ・通信教育部カレンダー  
(3月) →2022年度版 p. 28～29 (4月・5月) →2023年度版 p. 6～7
- ・演習・実習科目関連締切等  
社福→2022年度版 p. 35～37 2023年度版→ p. 23～25  
精保→2022年度版 p. 38～40 2023年度版→ p. 26～27

## 2023年4月以降の変更・留意点

- 『試験・スクーリング情報ブック2023の』 p. 18～21に掲載しております。必ずご確認ください。

### 【主な変更点】

- ・各種届出・申請用紙の一部様式が変更となります。基本的には新しい様式にて届出・申請をお願いいたします。(新しい様式は通信教育部ホームページよりダウンロードできます)

## 【再掲】 対面による学習相談のご予約のお願い

対面による学習相談は、ご相談内容により対応できる職員の調整の必要などから事前のご予約をお願いしております。具体的な申込方法につきましては次ページの「新型コロナウイルス感染防止に関するお知らせ」の「◆対面での学習相談および自習室の仕様について」をご確認ください。

## 【再掲】昨今の日本郵便の郵便事情について

2021年10月より、日本郵便（郵便局）の普通扱いの郵送物サービスが土曜日配達休止・お届け日数の繰り下げとなっております。この影響により、普通扱いの郵便物の到着の遅延（3～7日）が確認されています。各種提出物につきまして、ご提出の際はご注意ください。締切日まで余裕をもってのご提出にご協力ください。

## 新型コロナウイルス感染防止に関するお知らせ

3 / 2 現在、4月中旬以降の会場スクーリングの開講予定は本冊子4部をご参照ください。ただし、今後変更の可能性がございますので、最新情報をホームページ(<https://www.tfu.ac.jp/tushin/>)にてご確認ください。

### ◆対面での学習相談および自習室の使用について

現在、学習相談のみ申込を受け付けております。自習室再開の際は下記にしたがってお申し込みください。

- 1) 平日（水曜日のぞく）のみ利用可能となっております。日付は第2希望までご記入ください。
- 2) 「利用申込書」を提出し、予約が必要です。
- 3) 本学通信教育部HPからダウンロードした「利用申込書」を利用希望日の1週間前までにメール添付で提出してください（提出先uc@tfu.ac.jp）。
- 4) 郵送で提出する場合は、巻末様式を使用し、利用希望日の1週間前までにお申し込みください（返送先住所を明記し定形封筒に84円切手を貼付した返信用封筒を同封）。
- 5) 当日は学生証の提示が必須となります。

- 6) 学習相談は平日の下記①～⑤となり1日一人1回の利用となります。  
午前 (①10:00～10:30、②11:00～11:30)  
午後 (③14:00～14:30、④15:00～15:30、⑤16:00～16:30)
- 7) 学習相談は講義に準ずるため、録音・録画はご遠慮ください。
- 8) 自習室(現在休止中)の利用可能時間は、平日(水曜日のぞく)の下記①②となり1日一人1回の利用となります(入室制限:1回4名)。  
なお、スクーリング開講日につきましては感染防止の観点から閉鎖させていただきます、使用できませんのでご注意ください。  
①10:00～12:00(120分) ②14:00～16:00(120分)

### 【注意事項】

- 1) 1回の学習相談は最長30分以内、1回の自習室使用(現在休止中)は最長120分以内となります。
- 2) 入館は開始時間5分前からになります。開始時間に遅れないようにお越しください。
- 3) 各終了時には退室していただきます。
- 4) 入構時には、ご持参のマスク(不織布)着用および出入口での検温と手指消毒にご協力ください。
- 5) 発熱のある方(体温37.5度以上)、体調不良の方は、入構をご遠慮いただきます。
- 6) 疾患をお持ちの方やご高齢の方など感染により重症化しやすい方は、メールや電話などでご相談いただき、自習室(現在休止中)のご使用は自粛をお願いいたします。

### ◆事務室各対応時間

〈電話〉9:00～17:00(水曜日を除く)

〈メール〉9:00～17:00

**◆ご協力をお願い**

- ・レポート、各種証明書の申込等は、郵送での提出にご協力ください。
- ・制限下での入構が可能となりましたが、引き続き、電話・メール・郵送でのご質問・ご相談にご協力ください。

注) 図書館（国見キャンパス）等については、本学図書館ホームページ（<https://www.tfu.ac.jp/libr/>）でご確認ください。

# ご卒業おめでとうございます

教員 MESSAGE

通信教育部長・教授 **三浦 剛**

ご卒業おめでとうございます。

仕事をもちながら、あるいは子育てや介護をしながら通信課程で学ぶには、強い意志と多くの努力が必要だったことでしょう。はたして私にはできるだろうかと自分に問うとき、皆さんのこれまでの努力に心より敬意を表します。くわえて、皆さんを支えてこられたご家族やご友人、職場の方々にも心よりお礼申し上げます。

本学の教育の理念は「自利利他円満」です。これは自己の利益と他者の利益が一致して、世の中が円満になるという意味で、「ともいき（共生）」の思想といわれています。

現在、私たちを取り巻く状況は、コロナウイルスの流行やロシアによるウクライナ侵攻という戦争を見るまでもなく、激しく変化し、様々な問題を突きつけられています。このような状況でどのように自利利他円満を実現することができるのでしょうか。なかなか答えを出すことはできません。しかし、ここで考えることを止めてしまってはどうなるでしょう。このような状況でいかに共生の社会を作るか、常に考え続けなくてはならないと思います。

考えることは学ぶことでもあります。本学の建学の精神は「行学一如」です。これは実践と理論は一体であるという意味です。一体であるということは、みなさんが大学で学んだ知識や理論は、現実の実践や経験において常に検証され、修正され、より確かなものにしていかなくてはならないということです。学び続けることにより理論は常に検証され、修正され、激しく変化する世の中の状況に立ち向かうための手段となります。私たち

は学び続けなくてはなりません。

「学ぶとは、いつでも何かが始まることで、終わることのない過程に一歩踏み込むことである。」(林竹二『学ぶということ』国土社) 教育者、教育哲学者として有名な林竹二先生のことばです。このことばを卒業する皆さんに贈りたいと思います。今日、大学を卒業し、新たなステップに向かわれる皆さんは、今日からまた終わることのない、学びの過程に進むのです。

コロナ禍や戦争、グローバル化の急速な進行、価値観や個人の多様性が広がる今日、私たちは常に新しい考え方、新しい行動の仕方を探し出さなければなりません。学び続けることが求められているのです。ひとり一人がそれぞれを尊重し、その存在を認め合い、持てる力を出し合って支えあう社会、共生社会の実現が、現代を生きるすべての人の課題であることは間違いありません。

これからも本学での学びの核となる哲学「行学一如」と「自利利他円満」を胸に、変化し続ける世の中に漕ぎ出し、常に検証し、修正を行いながら、すべての人が尊重され、多様性を認め合う新たな社会作りに取り組んでください。

